

# 母校・女子陸上競技部が22年ぶりに全日本出場

今年で40回目を迎える大学女子駅伝の最高峰「全日本大学女子駅伝対校選手権大会」に母校の女子陸上競技部が2000年以来、22年ぶり8回目の出場を決めました。

過去7回は短大の学生で構成していましたが、4年生までで構成する亜大としては今回が初めての出場といえます。

同大会は、前回大会のシード校（8校のうち1校が辞退）や、各地区の学連代表校（12校）に加え、アディショナル枠として6校が選考されますが、母校はこの選考で5000メートルの6人のチーム記録1時間42分19秒81のタイムで6番目に入って出場を決めたものです。7番目の神戸学院大学（1時間42分20秒30）とは0.49秒差でした。4月から9月までの記録が選考基準になるため、ぎりぎりでの記録会挑戦が出場権獲得につながりました。

レースは、**10月30日（日）12時10分**に仙台市陸上競技場（弘進ゴムアスリートパーク仙台）をスタートし、ゴールの仙台市役所前市民広場までの全6区間、38.1Kmで競われます。当日は、**日本テレビ系で12時から生中継**されます。

創部5年目で初の全国大会に向け岡田晃監督は「新型コロナの影響でなかなか予定通りにはいきませんでした、大会までにはしっかり調整して25番目（出場大学25校）から上を目指します」と話していました。

## <第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会出場チーム>

☆前回大会のシード校（7校）

名城大学、大東文化大学、拓殖大学、立命館大学、日本体育大学、大阪学院大学、城西大学

☆各地区学連代表校（12校）

札幌国際大学、東北福祉大学、中央大学、新潟医療福祉大学、中京学院大学、佛教大学、関西大学、関西外国語大学、大阪芸術大学、京都光華女子大学、環太平洋大学、福岡大学

☆6人の5000Mのチーム記録（6校）

東洋大学、筑波大学、順天堂大学、東京農業大学、玉川大学、[亜細亜大学](#)

☆オープン参加

東北学連選抜